

6 京都の避暑地「和田地区」ぶらぶら歩き

若狭たかはま
ドコイコ!
ナニシヨ!
ミニツア-



海水浴が盛んであった昭和中頃には、京都の商売人の避暑地として30件以上の別荘が建ち並んでいました。そうした風情残る海辺のまち歩きコースです。

1 庄司邸

庄司邸の長屋門は、かつて郵便局として使われており、中庭に当時の名残をとどめる「〒」マークの入った瓦が残されています。

この長屋門には次のような言い伝えがあります。1142年頃海よりご神体が発見され、庄司邸に祀られました。このとき海より大きな石を取り寄せ鳥居になぞらえ門に建てたのが「犬石」(庄司邸門の向かって両側)です。ご神体は現在、新宮神社にお祀りされています。



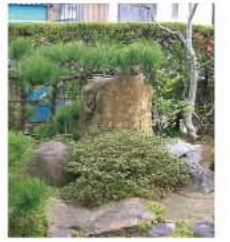
2 一瀬長四郎の建築(浜田邸)

西本願寺勅使門や京都仏光寺を造った有名な宮大工で、浜田邸の他、白崎邸座敷、新宮神社の建造を行いました。



3 晴明石

安倍晴明はわが国の天文学、暦学の祖といわれた人で、平安期の陰陽家でした。晴明が全国を巡る旅に出かけたおりに、和田村に立ち寄りしました。歩き疲れた晴明は、道路にあった石に腰を掛けて一服。後でその人が立派な学者であったことを知った村人は、この石を「晴明石」と言い伝えるようになりました。



4 白崎邸

白崎邸には、一瀬長四郎による欄間と座敷が残されています。欄間は見事な彫り物がされており、宮大工ならではの格式を感じる座敷となっています。



6 8 中山三郎邸・中山三郎歌碑

中山三郎さんは昭和八年、歌人・若山牧水の創立した短歌結社「創作社」に入会、牧水の妻喜志子さんに師事した後、若狭地方における後進の指導にも力を注がれた、地域を代表する文化人の一人です。公園の中にある歌碑には、「若狭湾奥まりに吾の八十年 農のくらしの春夏秋冬」が刻まれています。



9 塩田跡

かつて若狭の国では、塩づくりが盛んであり、交易の主産物の一つでした。そのため、海岸沿いには多くの塩田があり、ここ若狭和田海水浴場にも、海沿いにずらっと塩田が作られていました。現在は駐車場などになっています。



10 旧別荘群

和田地区は、京都のすし屋・呉服屋・医師等の別荘地として知られ、30軒を超える別荘が建ち並んでいました。海水浴場に面した地区には12軒ほどの別荘が建っていました。現在もいくつかの建物が残っており、当時の風情を感じることができます。



7 佐々木別荘(いづう寿司店)

京都のいづう寿司店の別荘。高浜は、京都のお寿司屋や呉服屋などの別荘地として栄えました。この地区は、そうした風情を色濃く残す場所です。別荘は石積み様式の場合が多く、眺望を良くしたり、プライバシーを確保したり、漁師町とは違う環境で構成されています。



11 若狭和田海水浴場

広い白砂と遠浅で透明な海が美しい海水浴場です。「人が水に直接触れる事が出来る快適な場所」として、環境省より「快水浴場百選」に認定されています。海沿いに約1km続く美しい松林「青の松原」と海岸沿いの自転車道、若狭富士ともよばれる青葉山との雄大な景観のコラボレーションは美しく絶景で、海水浴で賑わう夏期以外でもそのたたずまいは多くの人を魅了しています。また、「日本の夕日百選」にも選ばれています。

